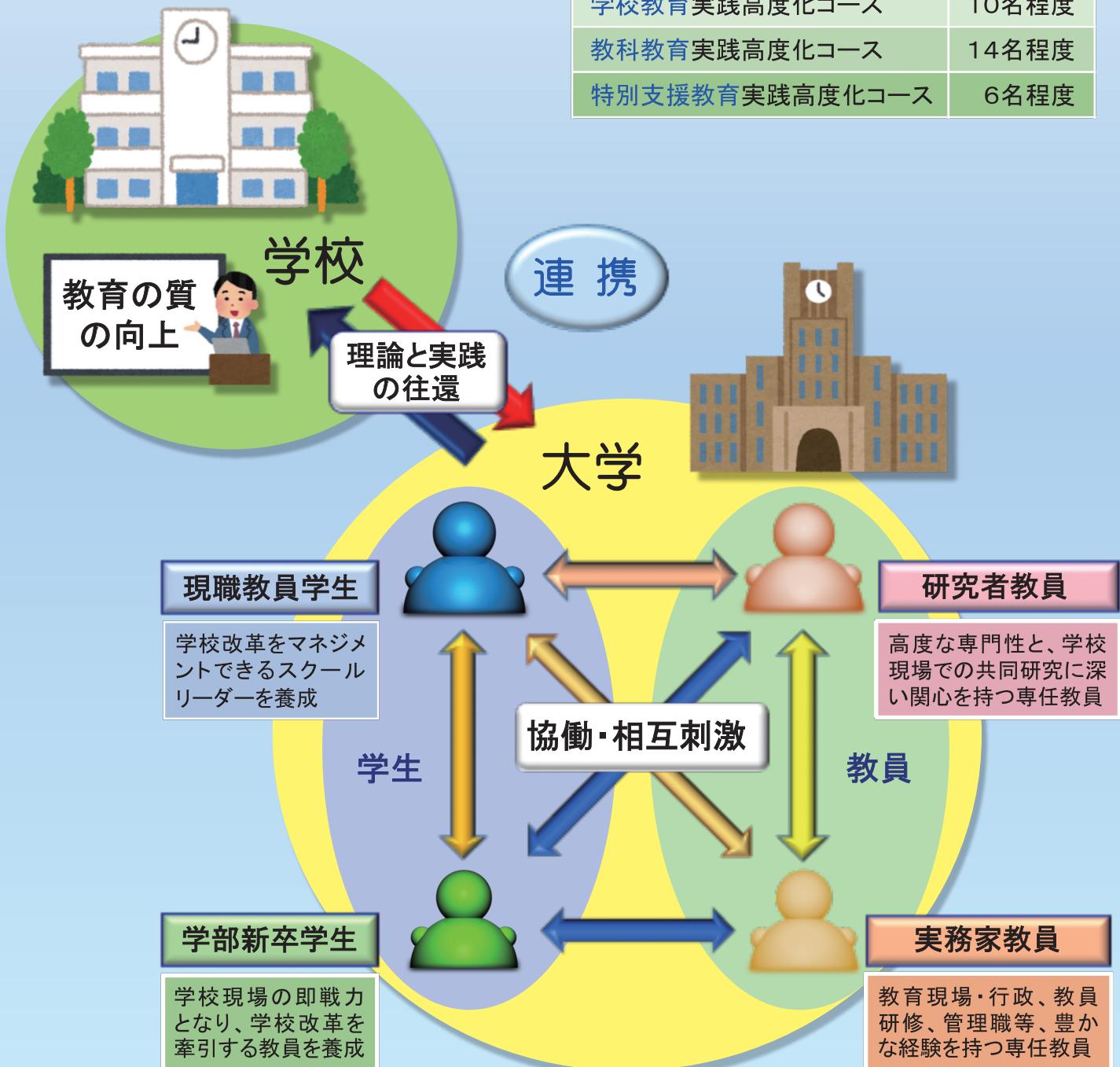


熊本大学大学院教育学研究科 教職実践開発専攻(教職大学院)概要

授業力・生徒指導力・経営力と、それらを支える
研究力・開発力など高度な教育実践力の育成

入学定員
30名



教職大学院(共通科目)で育成する5つの力

教育実践力の統合

授業実践開発

生徒指導・教育相談

学級経営・学校経営

授業力

- ・ 授業実践力／授業分析力／授業評価力
- ・ 道徳教育、英語教育・特別支援教育の充実
- ・ アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善力
- ・ 学力向上対策の指導力
- ・ 授業へのICT活用力

生徒指導力

- ・ いじめや不登校、問題行動などに対応できる実践的指導力
- ・ チーム学校としての生徒指導・相談力
- ・ 家庭・地域を視野に入れた現代的課題に向けた指導力

経営力

- ・ 地域とともにある学校づくりへの理解と学校運営のマネジメント力
- ・ 学級・学年経営力
- ・ 特別支援の観点も含めた学校マネジメント力
- ・ 家庭と地域との連携
- ・ チーム学校への対応力

協働の学び、チームワーク・リーダーシップ、知識・技能の伝承

自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていく力

高度な教育実践力

高度な教育実践力を支える研究力・開発力

研究力

- ・ 情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結びつけ構造化する力
- ・ 専門的知識・技能の深化
- ・ 21世紀型能力(確かな学力)を育成する力

開発力

- ・ アクティブ・ラーニングによる授業開発
- ・ ICTを活用した授業開発
- ・ 新分野の指導方法・授業実践法の開発
- ・ 学校や地域の課題解決法の開発

3つのコースの特徴 (養成目的や授業内容、研究報告書のテーマ設定に特徴)

| | |
|------------------------|---|
| 学校教育実践 高度化コース | 生徒指導や学級経営・学校経営についての深い理解と優れた資質・能力を持つ教員を養成。教科等の授業開発・実践研究は、最大2科目4単位履修。 |
| 教科教育実践 高度化コース | 教科教育の授業実践開発についての深い理解と優れた資質・能力を持つ教員を養成。教科等の授業開発・実践研究は、最大4科目8単位履修。 |
| 特別支援教育 実践高度化 コース | 特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する深い理解と指導力、校内支援体制のコーディネーター力、インクルーシブ教育システムに関する理解等において優れた資質・能力を持つ教員を養成。特別支援教育の内容が充実。 |

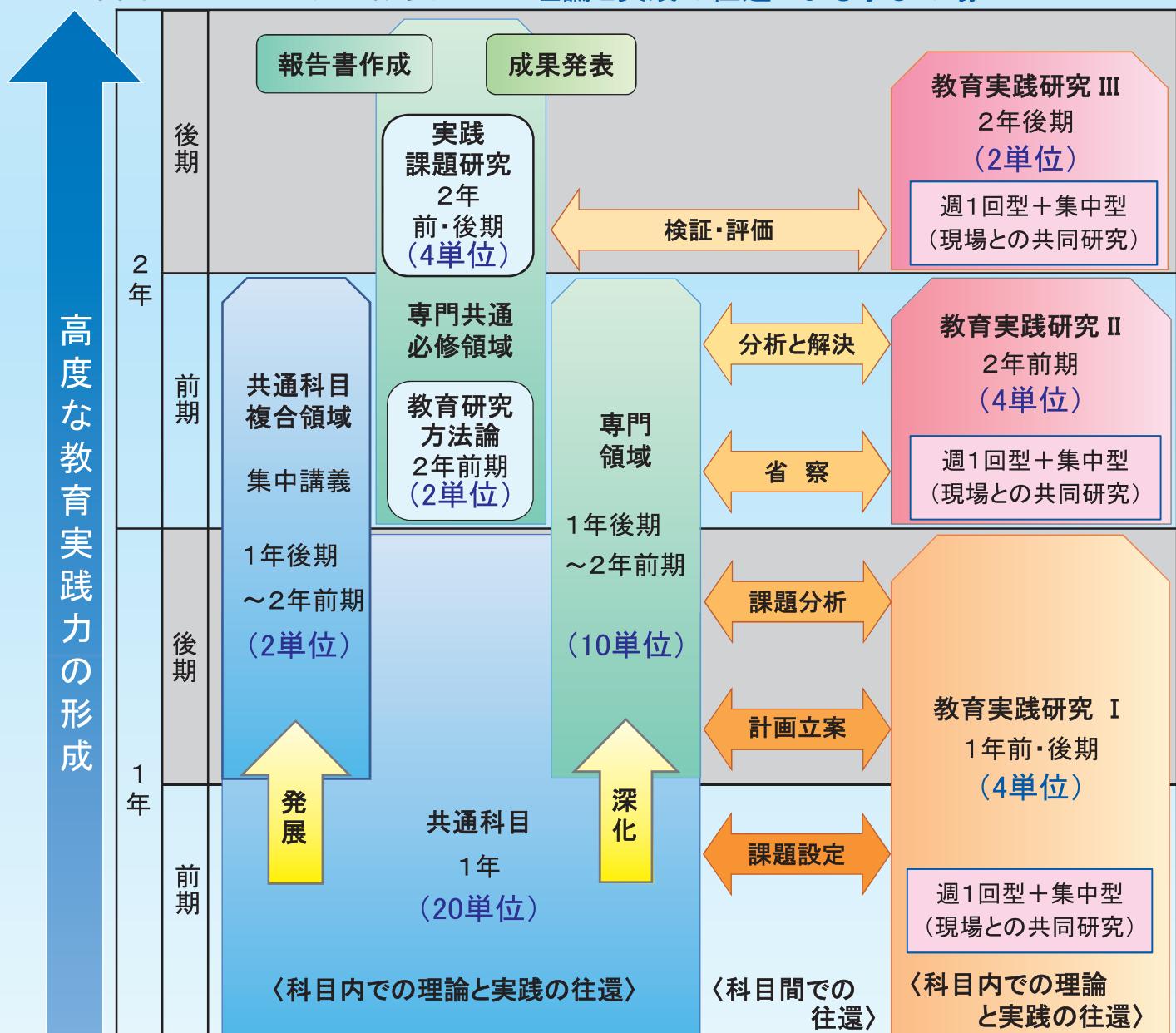
教職大学院の概要

| 課程名 | 専攻 | 学位 | 取得できる免許状 | 報告書等 | 修業年限 | 修了要件単位 |
|-------------|--------------|---------------|---------------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------------------|
| 専門職 学位課程 | 教職実践 開発専攻 | 教職修士 (専門職) | 現在取得している 教員免許の専修免 許(一部除く) | 2年次に 研究報告 書を作成 | 2年 (長期履修 制度あり) | 48単位 (特別支援教育実践高 度化コースは50単位) |

令和6年度入試予定

- ・入試方法 一般入試と推薦入試に分けて実施
- ・入試時期 一般入試 9月中旬(第1期)と、11月下旬(第2期)
- ・出願資格 一般入試 ・大学院入学資格を有し、教諭の普通免許状を有する者
推薦入試 ・熊本県・市教育委員会からの入学推薦を受けた現職教員(第2期に受験)
・現職教員のうち、6年以上の教職経験があり所属長からの推薦を受けた者
・現職教員以外で教員採用試験1次試験に合格し所属機関長の推薦を受けた者

2年間のカリキュラム概要 一理論と実践の往還による学びの場一



教育実践研究(実習)は、現場が抱えている問題に対する学校現場と大学の共同研究。学部新卒学生は連携協力校、現職教員学生は現任校を含む連携協力校をフィールドとして行う。研究中は、専任教員から複数回の訪問指導を受ける。

開講科目一覧(概要)

注:単位の覧で、○で囲んだ科目は必修科目、他は選択必修科目

| 領域 | | 授業科目 | 単位 | |
|-----------------------------|--------------------------------|------------------------------------|--|---|
| 共通科目 (20単位) | 教育課程の編成・実施 | 「21世紀型能力(確かな学力)」を育成するカリキュラム・デザイン | ② | |
| | | 学校カリキュラム・授業の改善を図るためのマネジメント | 2 | |
| | 実践的な指導方法 | 「21世紀型能力(確かな学力)」を育成する協働的な学びの授業デザイン | ② | |
| | | 小学校英語活動の授業デザイン | 選択必修 2単位 | 2 |
| | | 授業のユニバーサルデザイン論 | | 2 |
| | 生徒指導・教育相談 | ICT教育実践論 | | 2 |
| | | 生徒指導実践論 | ② | |
| | 学級経営・学校経営 | 教育相談実践論 | ② | |
| | | 学級経営の実践と課題 | 選択必修 4単位 | 2 |
| | | 学校マネジメントと学校改善 | | 2 |
| 教育実践研究科目 現場との共同研究 | 学校教育と教員の在り方 | 学校教育と集団心理療法 | | 2 |
| | | 現代教員論 | ② | |
| | | 学校と地域社会(地域と共にある学校づくり) | ② | |
| | 複合領域 | インクルーシブ教育システム論 | 選択必修 2単位 | 2 |
| | | ネット教育コミュニケーション論 | | 2 |
| | 教育実践研究Ⅰ(学校教育・教科教育・特別支援教育コース共通) | | ④ | |
| | 教育実践研究Ⅱ・Ⅲ(学校教育・教科教育コース) | | 選択必修 6単位 | 6 |
| | 特別支援教育実践研究Ⅰ・Ⅱ(特別支援教育コース) | | | 6 |
| 専門科目 (学校教育・教科教育 18単位) | 専門共通必修領域 | | ② | |
| | 実践課題研究(幼・小・中・高)(養護教諭) | | ④ | |
| | 重点領域A 授業実践開発 | 学習科学・授業研究方法と授業開発・実践研究 | 2 | |
| | | 教科等の授業開発・実践研究Ⅰ～Ⅳ(教科毎に開設) | 8 | |
| | | 教科と教科外活動の関連的な学習の授業開発・実践研究Ⅰ～Ⅳ | 8 | |
| | | 「豊かな心」を育む授業実践の開発 | 2 | |
| | 重点領域B 生徒指導・教育相談 | 生徒指導問題解決方法Ⅰ・Ⅱ | 学校教育 ・ 教科教育 コース 選択必修 12単位 | 4 |
| | | 道徳教育と生徒指導 | | 2 |
| | | 健康教育の実践研究Ⅰ・Ⅱ | | 4 |
| | | 学校保健の理論と実践 | | 2 |
| | 重点領域B 学級経営・学校経営 | 学校と家庭・地域の連携構築 | | 2 |
| | | 学校の危機管理の理論と実践 | | 2 |
| | | 教育コミュニケーションデザイン特論 | | 2 |
| | 重点領域C 特別支援教育システムと障害理解 | 特別支援教育論 | 特別支援 コース | 2 |
| | | 発達障害児の理解と支援 | | 2 |
| | | コミュニケーション障害児の理解と支援 | | 2 |
| | | 重度・重複障害児の理解と支援 | | 2 |
| 専門科目 (特別支援 20単位) | 重点領域D 特別支援教育指導法 | 特別支援学校カリキュラム・マネジメント論 | 特別支援 コース | 2 |
| | | 特別支援教育教科指導演習 | | 2 |
| | | 自立活動指導演習 | | 2 |
| | 重点領域D 特別支援教育コーディネート | 心理教育アセスメントの理論と実践 | 選択必修 8単位 | 2 |
| | | 教育支援計画作成演習 | | 2 |
| | | 通級指導教室・特別支援学級の運営演習 | | 2 |